

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 2月 20日

事業所名: わくわくクラブ(本厚木校)

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	0	・人数が多い日は部屋分けをして活動している	・密にならない状況を引き続き心がける
	2 職員の配置数は適切である	7	1	0		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	6	0	・全てがバリアフリー化できている訳ではない	・受け入れ児童の状況によりバリアフリー化を進めていけるよう対応する
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	0	・スタッフ間で交流の場を作っている ・責任者による面談を通し目標設定をしている ・会議等で情報共有をしている	・引き続き実施していく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	0	・毎年実施している	・改善点や課題をすべて改善し、業務改善につなげていけるようにする
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	0	・毎年ホームページにて公表している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1	0		・第三者評価を実施した場合には結果を共有し改善につなげていく
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0	・法人内において研修が実施されている	・引き続き職員の資質向上を図るため定期的実施していく
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	・アセスメント等に基づいた計画を作成している	・引き続き継続して行う
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	0	・契約時や新年度に書面で回収し参考にしている	・引き続き必要な情報を集めていく
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0	・役割分担をしながらその都度立案している	・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	0	・毎日活動内容について詳細を決めている	・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	0	・平日と長期休みで課題や時間割を変え支援を行っている	・季節感があり楽しめるイベントや活動として引き続き継続して行う
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	2		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	1	・毎日定例で実施し、共有ノート等も作り情報共有に努めている	・支援に関する打ち合わせの内容を打ち合わせに参加出来なかった出勤スタッフにも必ず伝えられるよう工夫していく
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	1	・日々の気付きを日誌に記入し、全員で共有している	・日報や口頭で振り返り内容を全スタッフに共有していけるようにする
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	0	・サービス記録提供票と日報に記録として残している	・引き続き継続して行う
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	0	・定期的実施している	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	0	0			

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	8	0	0		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	8	0	0	・保護者や学校からの 要望に応じ行っ ている	・引き続き継続していく
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	4	2	0	・現時点で該当児童なし	・今後こういったケースに備えて環境を整える
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	8	0	0	・保護者の要望に応じ 行っている	・引き続き継続していく
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	4	4	0	・該当児童なし	・今後こういった機会を得られるよう環境を整える
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	8	0	0	・巡回指導や研修を 受けている ・情報共有を行い 助言を受けている	・さらに連携が深まるよう、頻度や参加メンバーの 検討をしていく
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	6	・現状取り組めていない	・今後機会を作っていきたい
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	4	3	1	・決まったスタッフが 参加し内容の共有を している	・どのスタッフも参加していけるよう工夫する
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	8	0	0		
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	6	1	1	・日々の振り返りや面談 で保護者支援や 関わり方を伝えている	・限定的な回数にならないよう もっと多くの機会を提供していけるよう努める
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8	0	0		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	8	0	0		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	1	5	2	・父母の会等の活動は できていない	・行事やイベントを通して保護者同士の連携が 取れるようさらに支援していく
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応している	8	0	0		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6	2	0	・定期的に手紙の配布 や ブログの更新を実施	・認知度を上げていく為にも方法や頻度等を 改善していけるよう努める
	35 個人情報に十分注意している	8	0	0		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	7	1	0		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	1	2	5	・十分にできているとは 言えない	・地域に対しての発信をしていけるようにしたい

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	8	0	0		
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	8	0	0		
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	8	0	0		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる	7	1	0	・契約時に必ず説明を している	・認識の統一を行えるよう努める
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	8	0	0	・保護者から情報を 聞き取り行っている	・引き続き注意や配慮をしながら対応する
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	8	0	0		